

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】																								
(1)事業実績及び事業効果	<p>巡回相談指導事業について</p> <table border="1" data-bbox="539 600 1342 719"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>巡回延べ日数</td> <td>151日</td> <td>131日</td> <td>155日</td> <td>154日</td> <td>107日</td> </tr> <tr> <td>相談件数</td> <td>99件</td> <td>96件</td> <td>117件</td> <td>51件</td> <td>38件</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>—</td> <td>3,763千円</td> <td>5,282千円</td> <td>3,684千円</td> <td>2,985千円</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	巡回延べ日数	151日	131日	155日	154日	107日	相談件数	99件	96件	117件	51件	38件	予算額	—	3,763千円	5,282千円	3,684千円	2,985千円
		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																			
	巡回延べ日数	151日	131日	155日	154日	107日																			
相談件数	99件	96件	117件	51件	38件																				
予算額	—	3,763千円	5,282千円	3,684千円	2,985千円																				
<p>一時生活支援事業について※</p> <table border="1" data-bbox="539 860 1342 978"> <thead> <tr> <th></th> <th>26年度</th> <th>27年度</th> <th>28年度</th> <th>29年度</th> <th>30年度</th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>利用延べ日数</td> <td>326日</td> <td>201日</td> <td>463日</td> <td>738日</td> <td>467日</td> </tr> <tr> <td>利用実人数</td> <td>25人</td> <td>13人</td> <td>23人</td> <td>32人</td> <td>22人</td> </tr> <tr> <td>予算額</td> <td>—</td> <td>2,760千円</td> <td>2,760千円</td> <td>2,700千円</td> <td>2,700千円</td> </tr> </tbody> </table>		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	利用延べ日数	326日	201日	463日	738日	467日	利用実人数	25人	13人	23人	32人	22人	予算額	—	2,760千円	2,760千円	2,700千円	2,700千円	
	26年度	27年度	28年度	29年度	30年度																				
利用延べ日数	326日	201日	463日	738日	467日																				
利用実人数	25人	13人	23人	32人	22人																				
予算額	—	2,760千円	2,760千円	2,700千円	2,700千円																				
<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について 特になし</p>																									
(2)課題・問題点	<p>○いわゆる2条定義ホームレスは、これまでの事業が奏功して徐々に減少している。しかし、定住型のホームレスの方は、なかなか支援を受け入れていただけない場合が多く、そのような方に対し、今後も根気強く継続的に働きかけていくことが必要である。</p>																								
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	<p>○巡回相談指導事業は、2条定義ホームレスの方がいる限り、縮小、廃止は想定できない。現に、巡回相談員の粘り強い支援により、ホームレスを脱却した方が近年も少なからず存在する。</p> <p>○大阪府・市町村ホームレス自立支援推進協議会の実施体制は、全国にも誇れるすばらしい体制である。1市でも欠けるとオール大阪の支援体制の意義が崩れてしまうので、今後も府内の市町村一丸となって取り組んで行かなければならない。</p>																								
市町村部局名	豊中市福祉事務所																								

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び事業効果	<p>・巡回相談指導事業について</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・H25年度 2人 59巡回件数   ・H26年度 2人 67巡回件数</li> <li>・H27年度 1人 60巡回件数   ・H28年度 2人 58巡回件数</li> <li>・H29年度 2人 131巡回件数</li> </ul> <p>主に定住型ホームレスに対し、巡回相談事業を実施。 ホームレス数は2人で推移してきたが、H30年7月に1人が熱中症で入院。その後、生活保護受給となり、ホームレスを脱却となった。</p>
	<p>・一時生活支援事業について※ 事業実績なし</p>
	<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について 独自の取り組みなし</p>
(2)課題・問題点	<p>○現在、定住型ホームレスに対して、周辺住民や小学校より、頻繁に苦情が寄せられており、巡回相談員や池田市社会福祉協議会が関わり、相談支援を実施し、入院や生活保護等の提案をおこなっているが、拒否している。早急な対応を住民より求められているが、対応できず、苦慮している。 本人が支援を拒否している場合の対応が課題となっている。</p>
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	<p>○今後も引き続き巡回相談による生活状況把握及び生活に関する相談・支援の実施を継続して欲しい。</p>
市町村部局名	池田市福祉部生活福祉課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】																																							
(1)事業実績及び事業効果	<p>・巡回相談指導事業について 国庫補助有</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度 予算額</td> <td>0円</td> <td>巡回相談回数</td> <td>80回</td> <td>国庫補助率</td> <td>10/10</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>2,072,000円</td> <td></td> <td>51回</td> <td></td> <td>3/4</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,941,000円</td> <td></td> <td>36回</td> <td></td> <td>3/4</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,801,000円</td> <td></td> <td>45回</td> <td></td> <td>3/4</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,167,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>3/4</td> </tr> </table>	平成26年度 予算額	0円	巡回相談回数	80回	国庫補助率	10/10	平成27年度	2,072,000円		51回		3/4	平成28年度	1,941,000円		36回		3/4	平成29年度	1,801,000円		45回		3/4	平成30年度	1,167,000円				3/4									
	平成26年度 予算額	0円	巡回相談回数	80回	国庫補助率	10/10																																		
	平成27年度	2,072,000円		51回		3/4																																		
平成28年度	1,941,000円		36回		3/4																																			
平成29年度	1,801,000円		45回		3/4																																			
平成30年度	1,167,000円				3/4																																			
<p>・一時生活支援事業について※ 国庫補助有</p> <table border="1"> <tr> <td>平成26年度 予算額</td> <td>0円</td> <td>利用人数</td> <td>13人</td> <td>利用日数</td> <td>79日</td> <td>国庫補助率</td> <td>10/10</td> </tr> <tr> <td>平成27年度</td> <td>1,434,000円</td> <td></td> <td>23人</td> <td></td> <td>196日</td> <td></td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>平成28年度</td> <td>1,285,000円</td> <td></td> <td>17人</td> <td></td> <td>165日</td> <td></td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>平成29年度</td> <td>1,568,000円</td> <td></td> <td>22人</td> <td></td> <td>206日</td> <td></td> <td>2/3</td> </tr> <tr> <td>平成30年度</td> <td>1,167,000円</td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td></td> <td>2/3</td> </tr> </table>	平成26年度 予算額	0円	利用人数	13人	利用日数	79日	国庫補助率	10/10	平成27年度	1,434,000円		23人		196日		2/3	平成28年度	1,285,000円		17人		165日		2/3	平成29年度	1,568,000円		22人		206日		2/3	平成30年度	1,167,000円						2/3
平成26年度 予算額	0円	利用人数	13人	利用日数	79日	国庫補助率	10/10																																	
平成27年度	1,434,000円		23人		196日		2/3																																	
平成28年度	1,285,000円		17人		165日		2/3																																	
平成29年度	1,568,000円		22人		206日		2/3																																	
平成30年度	1,167,000円						2/3																																	
<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について</p>																																								
(2)課題・問題点	<p>○これまでの取組みにより、ホームレス数は減少してきているが、行政との関わりを避けるケース、日中ほとんど会えないケース、ホームレスという意識のないケースなど対応困難なケースが残ってきている。引き続き巡回を重ね、関係構築と支援の案内を粘り強く行い、社会との繋がりを保つ必要がある。</p>																																							
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	<p>○引き続き大阪府・市町村ホームレス自立推進協議会の広域事業としてホームレス巡回相談指導事業を行うとともに、一時生活支援事業を活用しホームレスへの自立支援を行っていく。</p>																																							
市町村部局名	吹田市福祉部生活福祉室																																							

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び 事業効果	<p>・巡回相談指導事業について ホームレス数は 平成26年1月 2名 平成27年1月 1名 平成28年1月 0名 平成29年1月 1名 平成30年1月 1名 ※「ホームレスの実態に関する全国調査(概数調査)」 ホームレス数が1名前後で推移していることから事業効果はあると考える。</p>
	<p>・一時生活支援事業について※ ここ数年、数十名の利用で推移。 観光客の増加で契約しているビジネスホテルや旅館の利用が難しくなり、緊急を要する対応に苦慮していたところであったが、社会福祉施設やNPO法人等もシェルター利用としての協力を得られたことで現在では安定した利用が可能となり、自立助長に向けた支援もスムーズに進めることができている。</p>
	<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について 生活困窮者自立支援制度による事業と連携し支援にあたっている。 支援困難なホームレスに対しては必要に応じて保健所、保健所の嘱託医等とも連携し支援を行うこともある。</p>
(2)課題・問題点	<p>○2条定義ホームレスは減少しているが、ネットカフェ難民等の見えないホームレスからの相談は未だ多く、その把握や支援策をどう講じていくかが課題であると考え。</p>
(3)計画に対する意見・ 今後の取り組み方向	<p>○ホームレスは減少傾向にあるものの依然として相談はあり、今後も本事業を通して支援していくことは必要であると考え。</p>
市町村部局名	高槻市健康福祉部福祉事務所生活福祉支援課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び事業効果	<p>・巡回相談指導事業について 本市におけるホームレス数は過去5年間、各年度4名と横ばい傾向である。ホームレス自立支援の一環として、大阪府ホームレス総合相談事業共同運営団体にホームレス巡回相談指導事業を委託して実施している。 当市域においても平成21年度のホームレス数(22名)と比較すると減少しており、ホームレス数の減少に有効な施策となっている。</p> <p>・一時生活支援事業について※ 平成26年度以降の予算額としては、平成28年度までは168万円、平成29年度以降は140万円となっている。本市における一時支援事業者は平成28年度まで1事業者のみであり、安価な事業者が無かったことが起因される。平成29年度以降、新たに一時生活支援事業者の登録があり、それまでの事業所より安価であるため、予算額については減額となった。なお、国庫補助については各年ともに3分の2が計上されている。 利用者数は各年とも20名前後で、年間利用総日数は200日程度である。いわゆる飯場での就労が困難となり、住居が無くなった者が利用者全体の8割を占めている。その後の支援において、住み込みでの就労先決定する案件も多く、一時生活支援事業利用によるホームレスの自立等に一定の効果があると考えられる。</p> <p>・その他(自治体独自の取り組み等)について 特になし。</p>
(2)課題・問題点	○本事業は、現ホームレスに対し有効な対策であるが、新規ホームレスの予防対策としては不十分である。またホームレスの形態・属性の多様化が進み、現行の支援体制では十分に機能していない部分もあると考えられる。
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	○本事業はホームレスの自立支援対策として有効な手段であると考えられるため、今後も本事業の継続が必要と考える。しかし、前述のとおり、ホームレスの形態・属性が多様化しているため、河川等で生活している従来の対象者だけではなく、ネットカフェ等で生活している要支援者に対しても支援が必要であると考えられるが、このような者に対し、その把握の方法も含め、どのようにアプローチしていくのか検討する必要があると考える。
市町村部局名	茨木市健康福祉部生活福祉課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】																				
(1)事業実績及び事業効果	<p>・巡回相談指導事業について ホームレス巡回相談指導事業による情報の共有により、当市管内のホームレスの把握を行っている。現時点では本市内で把握しているホームレスはいないが、本事業については、ホームレス等の発見や相談指導に効果があると考えている。</p> <table border="1" data-bbox="488 730 1107 810"> <thead> <tr> <th>負担金</th> <th>H26</th> <th>H27</th> <th>H28</th> <th>H29</th> <th>H30</th> <th></th> </tr> </thead> <tbody> <tr> <td>(予算額)</td> <td>22</td> <td>247</td> <td>685</td> <td>723</td> <td>798</td> <td rowspan="2">*一時生活支援事業分含む (千円)</td> </tr> <tr> <td>(決算額)</td> <td>0</td> <td>725</td> <td>653</td> <td>976</td> <td></td> </tr> </tbody> </table>	負担金	H26	H27	H28	H29	H30		(予算額)	22	247	685	723	798	*一時生活支援事業分含む (千円)	(決算額)	0	725	653	976	
	負担金	H26	H27	H28	H29	H30															
	(予算額)	22	247	685	723	798	*一時生活支援事業分含む (千円)														
(決算額)	0	725	653	976																	
<p>・一時生活支援事業について※ 住居を喪失した者に一時的に住まいを提供し、自立支援をおこなう事業として一定の効果があり、H28年度で30日、H29年度で89日の利用があった。本市においては巡回相談からの事業利用は無い。</p>																					
<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について</p>																					
(2)課題・問題点	<p>○ホームレスとの線引きが難しい、ネットカフェ等で長期間起居する者への対応や、生活困窮により今後ホームレスとなることも否定できない状況の者への適切な支援が必要。</p>																				
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	<p>○引き続き、ホームレス巡回相談指導事業との情報共有により、管内のホームレスの把握を行う。</p>																				
市町村部局名	箕面市健康福祉部生活援護室																				

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び事業効果	<p>・巡回相談指導事業について            ◎巡回相談延べ件数            H26年度 255件、H27年度 258件、H28年度 246件、H29年度 241件            ◎年度中ホームレス人数            H26年度 12人、H27年度 10人、H28年度 9人、平成29年度 8人            当市のホームレス数は全国的な傾向と同様に、昨今の景気の回復を受けて減少傾向にある。ホームレス数の減少は、巡回相談をきめ細やかに行って頂いてるおかげで、ホームレスの方の中から脱野宿を選択する方が増加していることも一因でと考える。</p>
	<p>・一時生活支援事業について※            当市の一時生活支援事業の利用者は平成26年度(ホームレス緊急一時宿泊事業)から平成29年度まで0件となっている。            ホームレス支援に関しては、巡回相談指導事業できめ細やかな対応をして頂き、入院、生活保護申請、居宅設定、施設入所等のその方に適した支援を担当者と協力して行っている。</p>
	<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について            特になし</p>
(2)課題・問題点	<p>○ホームレス数は確実に減少し、事業効果は上がっていると考え。巡回相談指導事業では、担当者が月1・2回ペースで巡回し、ホームレスの方と関係性を作り、困りごとを聞いたり、医療的な面での保健指導等、きめ細やかな対応をして頂いているが、居宅生活を拒否し、ホームレス期間が長期化する方もおられ、高齢化や体調面での悪化が今後、懸念される。</p>
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	<p>○ホームレスの動向に関しては、社会・経済情勢に左右されることが大きく、予測は不可能な部分があるが、大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画の通り、巡回相談指導事業と一時生活支援事業は従来通り、広域で取り組んでいくことが最も効果的、効率的であると考え。</p>
市町村部局名	摂津市生活支援課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び 事業効果	<p>・巡回相談指導事業について 「ホームレス自立支援等事業にかかる協定書」に基づき、巡回相談指導事業を実施している。平成26年度から30年度における本町でのホームレスについてはゼロとなっている。ただし、本町町民が他市でホームレスとなっているケースがあった。 なお、この巡回相談指導事業については、平成30年度の予算は107千円、生活困窮者自立支援事業費等負担金(補助率3/4)を活用している。</p>
	<p>・一時生活支援事業について※ 「ホームレス自立支援等事業にかかる協定書」に基づき、何らかの事情で居所を失った方について、一時生活支援事業により宿泊場所の提供を行った。 この一時生活支援事業については、平成30年度の予算は864千円、生活困窮者就労準備支援事業費等補助金(補助率2/3)を活用している。</p>
	<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について ホームレスの確認等については、生活保護担当者が家庭訪問する際に、公園・橋梁下・河川・道路・駅舎・公共施設等を目視で確認している。また、公園の維持管理所管課が年2回都市公園及び児童公園の遊具等の点検を行っており、その際ホームレス等及びその痕跡を発見した場合は情報提供するよう依頼している。</p>
(2)課題・問題点	
(3)計画に対する意見・ 今後の取り組み方向	○今後も引き続き取組みを進めていく。
市町村部局名	島本町健康福祉部福祉推進課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。



「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び事業効果	・巡回相談指導事業について 豊能町のホームレス数は26年1月から29年1月まで0人です。「ホームレス概数調査(全国調査)」より。
	・一時生活支援事業について※ 平成27年度に1件、緊急一時宿泊施設利用者への居宅設定支援を行い、野宿化の防止を図った。
	・その他(自治体独自の取り組み等)について 特になし
(2)課題・問題点	○特になし
(3)計画に対する意見・今後の取り組み方向	○豊能町では、ホームレスの事例があまりなく、相談の経験がほとんどないため、大阪府ホームレス総合相談事業共同運営団体のホームレス巡回相談指導事業があることは、心強く思っています。
市町村部局名	豊能町生活福祉部福祉課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。

「大阪府ホームレスの自立の支援等に関する実施計画」  
第三期(平成26～30年度)施策評価調査票

実施計画項目	第3 大阪府におけるホームレス自立支援施策に関する取り組み【市町村】
(1)事業実績及び 事業効果	<p>・巡回相談指導事業について ホームレス巡回相談指導事業により、本町のホームレス数は、平成26～30年度まで0人で推移している。本町はホームレスの事例があまりなく、相談の経験がないため、ホームレス巡回相談指導事業があることは心強く思っている。</p>
	<p>・一時生活支援事業について※ 平成26～28年度までは、一時生活支援事業の活用は0件。平成29年度には、1件活用している。</p>
	<p>・その他(自治体独自の取り組み等)について 特になし</p>
(2)課題・問題点	○特になし。
(3)計画に対する意見・ 今後の取り組み方向	○次期実施計画においても現行の事業の継続が必要と考える。
市町村部局名	能勢町健康福祉部福祉課

※(1)一時生活支援事業は生活困窮者自立支援事業の一事業。平成27年3月31日まではホームレス緊急一時宿泊事業として実施。